



10 宇航利衛利 1224003

平成 22 年 12 月 24 日

国際自動車株式会社 御中

準天頂衛星システム初号機「みちびき」技術実証実験への協力をお願い

独立行政法人 宇宙航空研究開発機構

宇宙利用ミッション本部

衛星利用推進センター

センター長 五味 淳



拝啓 時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。日頃より当機構の活動に関しましては、特段のご高配を賜り、深謝申し上げます。

さて、当機構におきましては、平成 22 年 9 月 11 日に種子島宇宙センターから打ち上げました準天頂衛星初号機「みちびき」を所定の軌道に投入、その後の初期機能確認を完了し、12 月 15 日より、「みちびき」を用いた技術・利用実証実験を開始致しました。

準天頂衛星システムは、米国 GPS 衛星を補完・補強し、日本全国どこでも、高精度な測位サービスが実現できることを目指し、開発されたものです。

当機構では、平成 23 年 2 月頃より約 1 年間、「多地点、多様な利用形態に応じた準天頂衛星システムの補完効果検証」として「みちびき」と「GPS」の測位信号を観測し、「みちびき」による測位可能時間、場所の拡大や、精度改善について技術的な評価を進めていく予定でございます。

この技術評価は統計的な意味合いから、全国の様々な場所、環境におけるデータ取得を行う必要があります。企業・大学・行政・各種機関の方々に、ご協力をお願いを致しております。

つきましては、国際自動車株式会社殿にも、別紙の内容を踏まえまして、当機構が準備いたします「みちびき」対応の受信機を御社の業務車両に搭載、設置頂き、データの取得、蓄積等に関するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具